



新城小学校 インパチェンス届ける

日頃からお世話になっている八重瀬町社会福祉協議会に感謝の意を込めて新城小学校（眞玉橋 初子校長）の児童たちが2月23日、赤・青・ピンク・オレンジ色のインパチェンスが植えられたプランター5台を寄贈しました。この日は、宮城団志先生と児童会役員の4人（鉢嶺颯君・神里知輝君・與那嶺加奈絵さん・新里麗さん）がきれいに咲き誇るインパチェンスを届けました。

教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の委嘱状交付式

教育委員会委員と固定資産評価審査委員会委員の委嘱状交付式が2月26日八重瀬町役場本庁舎で行われました。教育委員会委員には、2月27日をもって任期が満了する宮城政徳さんに代わり宮城明美さんが任命されました。また、固定資産評価審査委員会委員には、伊仲誠保さんと仲村幸徳さん、野原峯和さんの3人が任命されました。伊仲さんと仲村さんは、今回で2期目にあたります。中村町長からは「みなさま方の経験を活かし、町の発展にお力添えをいただきたい」と話しました。



町内の児童が島尻選抜として大活躍

沖縄県ミニバスケットボールALL STAR GAMEが2月28日、3月1日の両日、石垣総合体育館で行われました。6地区で争われる大会で、町内の小学校から5人が島尻地区代表に選抜され出場しました。島尻代表は、女子が優勝、男子が準優勝と見事な成績を収めました。3月9日には、選抜に選ばれた児童5人と学校関係者が成績を報告。中村町長からは、「全員が一つの目標の意味をよく理解したので立派な成績を収められたと思います。町内の学校の選手が八重瀬町というつながりで一緒にプレーできたことが一番大きな成果です」と激励しました。



写真前列左から嘉手刈圭吾（東小）、山本凱斗君（新小）、新垣ひびきさん（東小）、中山美裕さん（東小）、桃字佑佳さん（具小）
後方は、中村町長（左）と学校関係者



具志頭保育園 大事に育てたコスモスを寄贈

具志頭保育園園児12人が3月6日、八重瀬町役場を訪問し、大事に育てたコスモスを寄贈しました。プランターには、園児たちが描いた絵が描かれていました。中村町長からは「みんなが大事に育てたコスモスの花が咲くのを楽しみにしています」と園児たちにお礼の言葉を話しました。寄贈したコスモスのプランターは、多くの人に見てもらいたいと役場本庁舎の正面玄関横に飾っています。



雪の感触に大満足 海上自衛隊から雪のプレゼント

雪に接したことがない園児たちに本物の雪を見せてあげようと海上自衛隊（杉本孝幸代表）が2月27日、具志頭第2保育園で雪のプレゼントを行いました。雪は青森から航空輸送機で配達。初めてみる雪に園児たちは、裸足で雪の感触を体験。「冷たい」とみんな大はしゃぎしながらも雪合戦や雪だるまづくりに夢中になっていました。

仲座在住の東江誠哉君は「雪合戦やトンネルづくりが楽しかった」と雪の感触に大満足の様子でした。

沖尚野球部が 美化活動

昨年10月13日、八重瀬町高良に沖縄尚学高等学校ボールパークが開場し、同校の野球部及びテニス部の生徒たちが日々練習に励んでいます。

1月18日、野球部及び保護者100人が参加して練習場付近道路の草刈作業を行いました。多くの方のご協力でみちがえるほどきれいになりました。



「健康楽園やえせ町」 構想提案シンポジウム

「健康楽園やえせ町」構想提案シンポジウムが、3月1日具志頭改善センターで開催されました。OKINAWA型産業振興プロジェクト推進ネットワークが本町と連携して主催。パネリストには、行政や地元企業、JAおきなわ、大学関係者など多分野の識者が講演を行い、多くの人が参加しました。本構想案は、「健康楽園」をまちづくりの基調目標として①町民の健康増進及び医療費の削減、②地域農業の再生及び付加価値型農業の確立③地域特性を活かした魅力あるまちづくり④新たな産業の創出による地域内雇用の場の創出を目指すものとなっています。



神里さん苗木を寄付 「もっとマリーゴールドを普及させたい」

2月26日、八重瀬町字外間の神里富次さんから役場を気持ちよく訪問してもらいたいと八重瀬町役場に苗木（マリーゴールド、タチアオリ、ヒメサンダンカ、ベゴニアなど約230鉢）や堆肥3袋などの提供がありました。マリーゴールドは、105鉢も提供。神里さんは、「町花であるマリーゴールドを役場に植えることで多くの町民の方々に浸透してもらいたい」と大事に育てた苗を見ながら話しました。

